

## 社会思想史演習 (I) a

担当教員: 小田中 直樹

曜日・講時: 前期 火曜日 2講時

対象学年: 1年/1year,

科目ナンバリング: EEM-EC0520J, 単位数: 2

科目名/Subject Seminar in Economics a

曜日・講時/Day/Period 前期 火曜日 2講時

対象学年/Eligible Participants 1年/1year

科目ナンバリング/Course Numbering

単位数/Credit(s) 2

EEM-EC0530E

## 1. 授業の目的と概要:

社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

## 2. 学習の到達目標:

この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellectual history.

## 3. 授業の内容・方法と進度予定:

以下のような項目について、適宜検討する予定です。

- (1) 社会思想史学 (および関連諸領域) の研究史
- (2) 社会思想史学のアプローチ
- (3) テーマの選定
- (4) 修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

## 4. 使用言語: Japanese

## 5. 成績評価方法:

通常の参加を評価します。

## 6. 教科書および参考書:

## 7. 関連 URL:

## 8. 授業時間外学習:

授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文を適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

## 9. その他:

・履修を希望する皆さんは、かならず事前に小田中 (電話 022-795-6280、電子メール odanaka@tohoku.ac.jp) までご連絡ください。なお、なにか質問などあれば、遠慮なく小田中まで連絡してください。ちなみにオフィスアワーは水曜日の昼休みです。

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

## 社会思想史演習（Ⅱ） a

担当教員：小田中 直樹

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

対象学年：2年/2year,

科目ナンバリング：EEM-EC0620J, 単位数：2

科目名/Subject

曜日・講時/Day/Period

対象学年

/Eligible Participants

科目ナンバリング/Course Numbering

単位数/Credit(s)

Project Guidance in Econ a

前期 木曜日 1 講時

2年/2year

EEM-EC0630E

2

科目名/Subject

曜日・講時/Day/Period

対象学年

/Eligible Participants

科目ナンバリング/Course Numbering

単位数/Credit(s)

Project Guidance in Econ b

前期 木曜日 1 講時

2年/2year

EEM-EC0630E

2

## 1. 授業の目的と概要：

社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて修士論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の実践過程を検討します。

This class is for the students who intend to write M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

## 2. 学習の到達目標：

この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく修士論文を執筆することです。したがって、ここでは、修士論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルを説明するとともに、受講する皆さんの修士論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write the M.A. thesis in the field of socio-intellectual history.

## 3. 授業の内容・方法と進度予定：

以下のような項目について、適宜検討する予定です。

- (1) 社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
- (2) 社会思想史学のアプローチ
- (3) テーマの選定
- (4) 修士論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the M.A. thesis draft of each participant.

## 4. 使用言語：Japanese

## 5. 成績評価方法：

通常の参加を評価します。

## 6. 教科書および参考書：

## 7. 関連 URL：

## 8. 授業時間外学習：

授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、修士論文を適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

## 9. その他：

履修を希望する皆さんは、かならず事前に小田中（電話 022-795-6280、電子メール odanaka@tohoku.ac.jp）までご連絡ください。なお、なにか質問などあれば、遠慮なく小田中まで連絡してください。ちなみにオフィスアワーは水曜日の昼休みです。

Detail will be explained on the occasion of the first class.